



長生村公式プロモーション映画  
**長生ノスタルジア**

季節が巡るたび、  
私は「あの頃」を思い出す—



発行・編集 長生村  
千葉県長生郡長生村本郷1-77 TEL.0475-32-2111(代表)  
<https://www.vill.chosei.chiba.jp>  
2021年3月発行



Special Web Site  
**LONG and LIVE**  
<https://longandlive.com>

千葉県長生村 ライフスタイルガイドブック



TAKE FREE  
Lifestyle Guidebook  
**LONG**

千葉県長生村 観光ガイドブック



TAKE FREE  
Travel Guidebook  
**LIVE**

長生村地域応援パンフレット TAKE FREE

幼なじみのハルは、  
私をいつも応援してくれた。

穏やかな気候と美しい風景が広がる  
この村に私は帰ってきた。  
スクリーンに映っていたのは、  
この村に帰ってきてから  
私がずっと、目をそらしていたものだった。  
東京で就職する時も  
いつも応援してくれた幼なじみのハル。  
何もないと思っていたこの村を  
私はきっと好きだったのだろう。

## STORY

仕事を辞め、父が暮らす長生村に帰ってきたアカリ。  
四季を巡り、ふと忘れかけていた思い出がよみがえってくる。  
幼なじみのハルと過ごした高校時代、父とケンカをしてまでも  
夢を叶えるために離れた長生村……。  
大人になって改めて気づいた村への思いや、幼なじみハルへの  
思いを胸に、長生村での新しい暮らしへと歩みを進める。  
一年間をかけて、村の四季折々の情景や暮らし、イベントを  
鮮やかに描きだしたプロモーション映画。



# 第一章 長生村の夏

大人になって、改めて長生村への  
思いに気づき始めている。

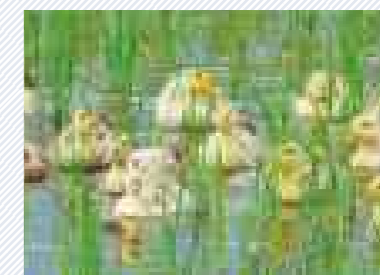
九十九里浜に面する千葉県唯一の村、長生村。仕事を辞めて、父が暮らすこの村に帰ってきたアカリは、新しい暮らしを始める。よみがえるハルとの放送部での思い出や、慣れ親しんだ特産品のおいしさ……。テツヤと訪れた盆踊り大会で、アカリは放送部の女子高生にインタビューされる。“長生村の好きなおところはどこですか”その質問に戸惑い、答えられないアカリ。そして、この村に帰ってきたことをアカリはハルにまだ言えずにいた……。

## 本作で登場する夏の特産品やイベント



### ながいきそば

アカリがテツヤと一緒に食べているおそば。村の人の手厚い労力を受け、無農薬で生産されるため、旨みと愛情たっぷり。



### アイガモ農法コシヒカリ

長生村ではアイガモ農法による自然循環型の米作りを行っている。アイガモに害虫を食べてもらい、無農薬で育てる安心・安全なお米。



### ながいきトマト

父ノブアキとテツヤが洗っているトマト。冬を越え、初夏に赤々と実ったトマトはリコピンの含有量が多く、爽やかな旨味があふれる。



### ちょうせい盆踊り大会

アカリとテツヤが“長生村の好きなおところ”を聞かれるシーン。尼ヶ台総合公園で行われる、参加自由の盆踊りイベント。



# この村に帰ってきたことを なぜハルに言えないんだろう。

夏が終わると、真っ白で可憐なそばの花が一面に咲き誇る。  
 秋には「ながいきフェスタ」が開催され、  
 テツヤとアカリもそのお祭りを楽しんでいた。  
 「ハルちゃんと会わないの?」と、テツヤに聞かれるアカリ。  
 この「ながいきフェスタ」には、長生村のCMを作った高校時代の  
 アカリとハルも訪れ、インタビューをしていた……。  
 アカリは家で電話を見つめている。  
 しかし、ハルへ電話をすることを未だに決心できずにいた。

## 🦋 本作で登場する秋の特産品やイベント



### そばの花

夏から秋へ季節が変わるシーンで登場。真っ白く可憐な「そばの花」。「ながいきそば」はオーナー制度を導入している。



### ながいきフェスタ

毎年11月に開催される、地元の特産品をPRする産業まつり。長生地域の「うまいもの」が大集合する村最大のイベント。



### 太陽くん

映画内の「ながいきフェスタ」に登場。「緑あふれる自然豊かな村」を表現している長生村のイメージキャラクター。



### 尼ヶ台総合公園

長生村のスポーツと憩いのスポット。野球場やテニスコートを備え、自然の地形を活かした散策路も人気。



# 第二章 長生村の秋

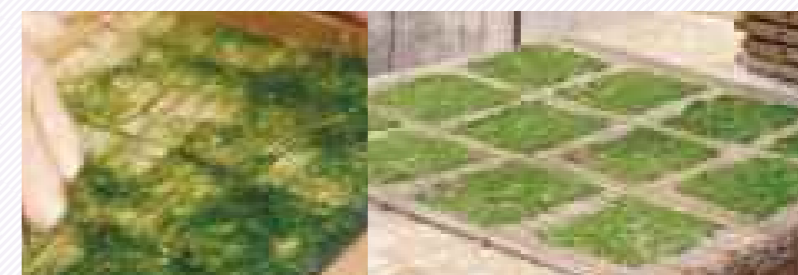


## 第三章 長生村の冬

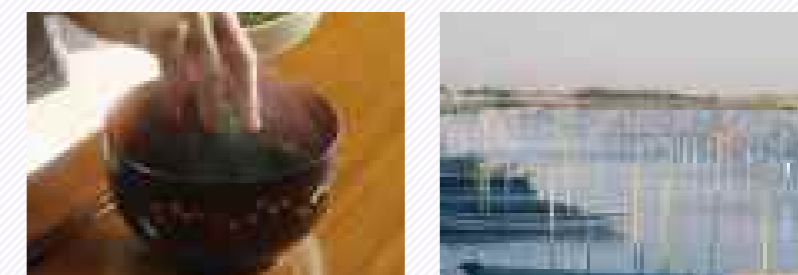
ハルと約束した夢をあきらめて、  
長生村へ帰ってきた。

冬になると青のりの収穫が始まる。日本でも数少ない汽水域で生産される青のりは、長生村のお正月には欠かせない特産品。青のりを運び天日干しする父ノブアキに、アカリは東京での仕事を辞めて帰ってきた自分のことをどう思うか聞いてみる。東京へ行く時には、ハルと約束した夢があったことも……。でもアカリは夢をあきらめて長生村へ帰ってきた。ノブアキは、アカリがハルに会いたくない理由を言い当てて、仕事に戻っていく。

### ❄️ 本作で登場する冬の特産品やイベント



**青のり**  
ノブアキとテツヤが収穫・手すき・天日干しをしている青のり。  
一枚ずつ手すきと天日乾燥をすることで独特の青色と高い香りが生まれる。



**長生流の雑煮**  
アカリ、テツヤ、ノブアキが食べている雑煮。  
千葉県伝統的食文化で、正月に大量の青のりを雑煮に入れて食べるのが長生流。

**一松内水面漁場**  
ノブアキとテツヤが青のりを収穫している汽水域。冬になると、今も変わらず水面には多くの竹棒が立ち並ぶ。

